

本田宗一郎マップ

1.技術者としての革新性

初期キャリア



1922年、東京の「アート商会」に入社

- 自動車修理の基礎を学ぶ
- 技術者としての視野を広げる

主な成果

- 1937年、ピストンリング自主製造成功
  - 自動車部品の国産化に貢献
  - 東海精機重工業への道を開く
- 1946年、本田技術研究所設立
  - 独立後の新たなスタート
  - オートバイ開発の基盤を築く
- オートバイ開発に着手
  - 二輪車市場でのリーダーへ



「スーパーカブ」などの革新的なモデルを開発

2.経営者としてのビジョン

本田技研工業の設立

1948年設立、資本金100万円、従業員34人

- 小さなスタートからの急成長
- 従業員と共に夢を追う

国際展開

- 1959年、アメリカに現地法人設立
  - 海外市場への進出
  - アメリカ市場での成功の足がかり



1963年、四輪車「T360」発売

- ホンダ初の四輪車
- 小型車市場への新たな挑戦



1964年、二輪車で世界選手権に参戦

- モータースポーツでの成功
- ブランドイメージの向上

3.人間性とリーダーシップ

社員との関係

「オヤジさん」と親しみを込めて呼ばれる

- 親しみやすい人柄
- 社員との距離の近さ

社会的姿勢

- 差別を諸悪の根源と見なす
  - 公平な機会の提供
  - 多様性の尊重
- 1952年、藍綬褒章受章時に技術者の正装で出席
  - 技術者としての誇り
  - 社会的地位への影響

経営スタイル

社員の意見を尊重、自由な発想を奨励

- 革新的なアイデアの促進
- 社員の能力開発とモチベーション向上